

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	270101843		
法人名	有限会社てるてる		
事業所名	グループホームてるてるぼうず		
所在地 (電話番号)	〒030-0151 青森県青森市高田字川瀬334-5 (電話) 017-739-1891		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 1月 23日	評価確定日	平成 20年 3月 6日

【情報提供票より】(平成 20年 1月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 20年 1月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 16人, 非常勤	人, 常勤換算 12.8人

### (2) 建物概要

建物構造	木造鉄板葺防火サイディング造り		
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	9,000 ~ 冬期12,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

### (4) 利用者の概要( 1月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	8 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 83.8 歳	最低	72 歳	最高	90 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	川口内科・あおり協立病院(協立クリニック)
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホームの周りには民家が連っているが、閑静な環境の中に立地されている。地域の児童館、小学校、中学校等とも交流を図り時々小学生が遊びに来る等交流を図っている。また近隣にある他グループホームと協力し情報交換したり地域への情報提供も行っている。</p>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>ホームの理念を運営推進会議、スタッフ会議等で伝え確認しサービスの向上に努めている。また、入居者、家族、来訪者等にも理念が伝わるよう玄関にも掲示されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>ユニットリーダーを中心に、スタッフも自己評価に取り組んでいる。外部評価、家族等の意見を踏まえ改善に向け積極的に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>サービスの向上に向け、家族や地域の方々と検討し、その取り組みや結果について報告している。また、地域の視点からいろいろな意見を取り入れ、ホームの役割や認知症について理解・周知に向け取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>行事や運営推進会議、訪問時等、機会ある度に意見や要望を聞かせていただけるよう働きかけており、いつでも話しやすい雰囲気作りにも配慮している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域活動への参加や、生徒、園児等の受け入れ等、入居者、職員が共に楽しみながら、地域とのつながりをとても大切にしている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域と積極的に関わりを持つ」理念に加え地域とともに暮らしていく支援が取り込まれた理念が作りあげられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者とスタッフは、理念を共有している。個々のスタッフが協力しあい、理念の実践に向け取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近所の小学校との行き来がある。認知症普及活動のため、地域で寸劇を行う等、積極的に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価はユニットリーダーを中心に全員で取り組み、ケアの向上と見直しの機会にしている。また、外部評価の結果を運営推進会議等で報告・検討し、改善へむけた取り組みがなされている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的開催され、双方から意見交換がなされ、地域の協力を得ながら更なる質の向上に努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村職員との情報提供の場が運営推進会議のみの状況である。</p>		<p>地域密着型サービスは市町村の指定、指導権限であり、市町村の理解や支援が必要です。考え方や実態を共有し合い、サービスの質の向上を目指すことを期待したい。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、権利擁護事業の利用者が1名いる。職員は外部研修に参加しているが伝達研修等を行っていない為、全職員の理解が不足している。</p>		<p>定期的に勉強会を開催したり、研修の場を増やし、更なる職員の理解を深め、必要時に全職員が対応できる体制の構築を目指すことを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所内での勉強会やミーティング等を実施し、高齢者虐待防止法に関する理解浸透や遵守に向けた取り組みを行っている。また外部研修に参加している。</p>		<p>研修などに積極的に参加している取り組みはとても評価できます。事業所内でのルールやマニュアル作りにも取り組んでみましょう。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項を、わかりやすい言葉で丁寧に、相手が理解できたか確認しながら説明し、本人や家族の理解・納得が図られるよう努めている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月家族へ便りで現在の報告をしたり、電話連絡で様子を知らせている。金銭管理は出納簿のコピーを便りと一緒に送付している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議を通じて、何時でも意見や要望を言ってもらいたいことを伝え、来訪時には何でも話しやすい雰囲気をつくっている。出された意見や要望については、迅速・真剣・丁寧に解決に向け取り組まれている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動等による利用者への影響を考慮し、法人内スタッフは日ごろから交流の機会を持ち、顔なじみの関係を作り、利用者へのダメージを防ぐ配慮がなされている。新しいスタッフを採用した場合も、入居者の反応に十分注意を払い、無理のないケアがなされるよう配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内では研修委員による研修が開催されている。外部の研修へも受講できるよう機会をつくり、研修内容を報告する場を設けている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は地域の同業者との交流を図っており、サービスの質の向上・ネットワークづくりに努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族と協力し、入居前にホームに足を運んだり、スタッフと顔を合わせる機会をつくり、少しでも安心して入居できるよう配慮されている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>共に暮らしを支えあう関係をつくりあげ、スタッフは生活の様々な場面で、入居者に助けられたり教わったりし、感謝の気持ちを常にあらわし、入居者が主役となれるよう工夫されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日頃から意見を聞くようにしているとのことだが、アセスメント等は初回のみしか確認できなかった。</p>		<p>意思疎通が困難な場合でも本人のこれまでの暮らしなど「本人の視点」に立って話し合うことが大切です。アセスメントツールを使用し今後の検討に期待したい。</p>
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者や家族の意向からのケアプランが少なく、職員の視点からみたケアプランとなっている。</p>		<p>本人の生活を主としたケアプランの視点が必要と思われる。本人や家族、関係者の意見を含めて課題となることをスタッフ全員で協議し作成されることを期待したい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回ケアプランの更新はされているが、調査時に拝見したケアプランはすべて継続になっており、アセスメントシートも入所時のものしか確認できなかった。</p>		<p>ケアプランの遂行状況や本人の状態を「気付く」ことが大切で、実情に即した、あるいは予防的に対応していくための臨機応変なケアプランの見直しを期待したい。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>空室を利用したショートステイは実施可能であり、デイサービスの実施を検討している。</p>		<p>入居者及び家族のニーズを引き出すような働きかけを常に心がけ、柔軟な支援を提供するよう期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診送迎・付き添いを行い、往診を受けることも可能な状態になっており、適切な医療を受けられるように支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時から重度化及び終末期ケアについて家族・医師と相談し方針を決めスタッフ全員で共有している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は、一人ひとりの尊厳を守る事の大切さを認識しており、入居者同士もお互いを認め合える関係がつけられるよう支援されている。</p>		<p>個人情報保護法に基づいたマニュアルの整備を行い、個人情報の漏洩防止を図っていくことを期待したい。</p>
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>時間で区切ったスケジュールはなく、入居者が、その日をどう過ごしたいかをその都度伺い、一人ひとりが主体的に過ごせるよう支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>可能な限り、職員も一緒に食事するようにしており、後片付け等も職員と入居者が一緒に行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴の回数等、入居者からの要望等がない為、基本的に週2回の入浴になっている。希望があれば好みの時間・曜日に入浴可能な体制はある。体調不良時は足浴・陰部洗浄・清拭等代替も可能である。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日々のかかわりや生活歴から得意な事を見つけ、お願いできそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝え、自信に繋がるよう支援されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>管理者やユニットリーダーの許可を得て、入居者の要望に合わせて散歩・ドライブを行っている。</p>		<p>地域住民の理解と協力を得ながら、散歩以外に入居者個人の馴染みの店や思いでの場所に出向いたり、地域行事や外食などの機会を設け、本人の楽しみや喜びをさらに広げる取組みに期待したい。</p>



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内での勉強会やミーティング等を実施し、高齢者虐待防止法に関する理解浸透や遵守に向けた取り組みを行っている。また外部研修に参加している。		研修などに積極的に参加している取り組みはとても評価できます。事業所内でのルールやマニュアル作りにも取り組むことを期待したい。
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は外部からの不法進入等を考慮し施錠していることもあるが、日中は鍵をかけていない。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議で災害対策について働きかけ、マニュアル作成する予定になっている。		職員だけの誘導の限界を踏まえ地域の人々や他事業所の協力が得られるよう、日頃から話し合いや合同訓練を行うことを期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量を毎日チェック表を活用し把握している。定期的に栄養士に献立をみてもらいアドバイスをもらっている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	会議等で勉強会を行ったり、研修会を実施している。また感染症に関するマニュアルがある。		保健所や他事業所との連携を密にしながら、流行の感染症やその対策についての最新の情報をもとに、勉強会の開催、マニュアルの随時見直しにより、感染症予防の強化が図られる為、事業所独自のマニュアル作成に取り組むことに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が日常取り組まれている趣味の作品や写真等が、季節に合わせた飾り付けで掲示されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた日常生活用品が持ち込まれるようご家族に働きかけている。備え付けのものでも、本人の使いやすい場所に置かれるよう、本人と相談して決めており、居心地良く過ごせるよう配慮されている。</p>		

 は、重点項目。